

★シロイチモジヨトウ情報★

ネギでシロイチモジヨトウが多発傾向です
豆類および野菜類でも発生に注意してください。

1. 発生状況

(1) 7月中旬の当所巡回調査での発生量は、ネギでやや多くなっています。

項目	本年	平年値
幼虫数(頭/株)	0.027	0.005
寄生株率(%)	1.3	0.8
発生ほ場率(%)	16.7	8.2

*小株(葉長40cm未満)での調査結果

(2) 7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市では平均比多くなっています(図)。

2. 気象予報

(1) 大阪管区气象台が7月22日に発表した向こう1か月の近畿地方の気象予報によると、気温は高く降水量はほぼ平年並と予想されており、増殖しやすいと考えられます。

3. 防除上の留意事項

(1) 齢が進んだ幼虫では農薬の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要です。

(2) 被害葉及び収穫残さが本種の発生源となるので、一箇所にとどめて積み上げ、虫の拡散を防ぐため、表面をビニルで被覆する等、適切に処分してください。

(3) 本種は寄主範囲が広く、ネギ以外に豆類、野菜類、花き類を加害するので注意してください。

(4) 詳細は令和元年8月26日付け「病虫害発生予察注意報第6号」を参照してください。

<http://www.pref.kyoto.jp/byogai/documents/rlchuu6.pdf>



写真 シロイチモジヨトウ幼虫(左)と卵塊(中)、ネギの被害(右)

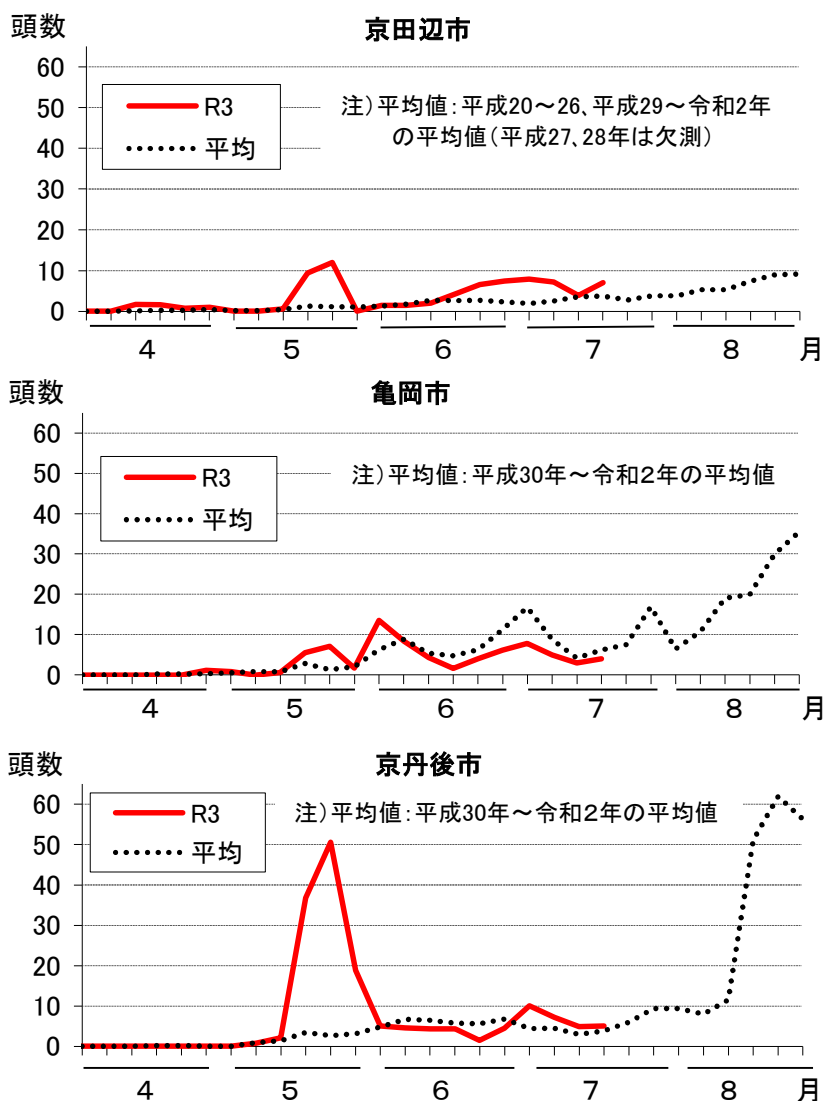


図 フェロモントラップへのシロイチモジヨトウの誘殺状況